

武器を捨て エレガントに 生きよう

撮影：SAP CHANO



©SAP CHANO

るおしゃれな紳士集団「サブール」がいる。

約90年前、フランスに従軍していたコンゴ人が帰国の際に洋服を着ていた
ことで、コンゴ人が洋服の美しさに惚れ込んだことが始まりと言われている。

高級スーツを買うために一生懸命働くサブール。自分たちの美的感覚

をもとに独自のファッションを生み出している。

リーダーのセヴランさんは、「サブールになる前は

暴力やケンカが日常だったけど、サブールとして

生きることが心穏やかになった。

サブールは、世の中が平和だからできること。

平和を守るにはサブールが必要なのさ」と話す。

今日も紳士たちは、

とおきのコーディネートで街に繰り出す。



ベナン

コンゴ共和国



アフリカの布で日本の浴衣を作る会社

青年海外協力隊として活動したアフリカのベナンで、現地の布を使って
日本の浴衣をつくる会社「シェリーココ」を立ち上げた川口さん。
ベナンの女性たちに働く場所を提供し、ポップでかわいいアフリカ布
製品を日本にたくさん届けている。(ホームページ) <http://www.chericococo.jp/>



Cherie COCO 代表
川口莉穂さん

Q1. どうしてベナンで浴衣をつくろうと思ったの？

A. 仕事がなかった仕立て職人の生活のお手伝いをしたいと思った
のがきっかけ。アフリカの布は色鮮やかで明るいデザインが多く、
浴衣なら日本人も「可愛い!」と思って着てくれると思ったから。



Q2. アフリカってどんな所？

A. 貧しい、危険... それだけがアフリカじゃない! こんな色鮮やかな布を使って素敵な商品を作り、
明るく元気に暮らしている人がたくさんいることを知ってほしい。会社名「シェリーココ」は、
愛しい人の呼び名。日本とアフリカがお互いをシェリーココと呼び合える仲になればいいな。

TICADって 知ってる？

なぜアフリカは世界中から注目されているの？

1

豊かな天然資源がある
(石油、金、ダイヤモンドなど)

2

アフリカ全土の人口が2050年に25億人になる
(世界の4人に1人がアフリカの人)

日本はアフリカのために、さまざまな技術指導や人材育成などを行なっているが、
最近中国がアフリカに急接近。たくさんの資金を投入し活動している。日本は
どうしたらアフリカ諸国と仲良くできるのか、みんなも考えてみよう。



企画展示

“着る”アフリカ展

サブール撮影：SAP CHANO

2019年1月19日(土)～3月24日(日)まで 月曜休館



あーふ5で
〒247-0007 横浜市米区小宮ケ谷1-2-1



TEL:045(896)2121 Qあーずぶらざ(検索)